



木曜会  
なかにし かいと  
中西 海斗



## 新市民病院建設について

**議員** 新市民病院建設の理由について伺う。現市民病院の改装や補修など長寿命化をして、もうしばらく長く使うことはできないか、もしできないのであれば、その理由を伺う。

**市長** 今後、高度かつ広範囲にわたる公立病院の役割を果たすためには、現病院の老朽化、狭あい化などが明確な課題となっている。病院は35年から40年で建て替えが検討される中、本館は築41年と老朽化が進み、大きく変化する医療サービスに対応するのが困難となってきている。また、新型コロナウイルスなどの感染症の対応について、現病院では、建物の構造上、外来や救急部門からの明確な分離が困難であり、建替えによる病院整備が必要である。

現市民病院の改修では、患者への影響、工期の長期化など非効率的であり、抜本的な解決に至らないと判断した。



木曜会  
つちや さきこ  
土屋 咲子



## 高齢者の就労支援

**議員** 元気で就労意欲ある高齢者を活用し人口減少による労働力不足を補う取り組みを行っているか。

**市長** シニア対象の就職面接会等を開催。

**議員** シルバー人材センターの仕事は「臨時的・短期的・軽易な業務」とされ、植木・剪定・掃除・駐車場管理等の軽作業が中心で、ホワイトカラー層の受け皿になりにくいという指摘について本市の考えは。

**市長** 指摘の通り軽作業が中心だが事務職も拡大されつつある。ニーズに応じて仕事を充実させられるよう同センターとの連携を図る。

**議員** 収入を得ることよりも知識や経験を社会に役立てたいという方もいるが、高齢者の社会参画を促進する取り組みは。

**市長** 希望に沿った選択ができるよう高齢者

**議員** ① 耐用年数について、一般的な鉄筋コンクリートの耐用年数は標準で60年、そこから長寿命化等をして長く使うこともできる。全国を見渡せば築50年以上の病院もたくさんある。では、なぜ病院に至っては35年から40年で建て替えが必要となるのか。明確な説明が必要だと考える。

② 財源等の詳細な説明が必要。また病院側も明確な収支計画及び返済計画を先に上げるべき。

③ 30年後の尾道は人口8万人前後となるなか、これからの街づくりにおいてこの病院の役割、そしてこの病院を中心としてどのような街づくりをしていくのか、その辺りの将来のビジョンも示していただきたい。

④ 現病院の改装案の方も相見積りを取ったうえで、費用と効果を検証するべき。

以上、総額200億円もの財政支出を伴う事業である。より明確な説明がないと我々も判断できない。今のところ、判断材料となる情報が少ないので、上記のことを説明して、多くの市民の総意を問うべきである。

の就労や活動を支援していく。

## 尾道みなと小中学校に関連して

**議員** 建設費64億円が市財政に与える影響を危惧する市民の声があるが以前の答弁にもあった「費用の圧縮を検討」しているか。

**教育長** 事業費は基本設計の完了後に示す。

**議員** 住民監査請求が行われ保護者らは不安な状況下にあるが教育長の考えは。

**教育長** 審査中でありコメントを控える。

**議員** 学校は防災や保育・地域交流の場としての機能をもつが、同校区と地域のあり方をどう考えているか。

**教育長** 住民や保護者が学校運営に参画しやすい環境を整え特色ある教育活動を行う。

**議員** 中心市街地に位置する学校跡地を今後どう活用するか。

**教育長** 白紙で示せない。耐震性の問題や特別警戒区域であり慎重な検討が必要。旧筒湯小学校は施設の老朽化が著しく将来の施設のあり方を要検討。



潮風おのみち  
かむり まさてる  
冠 匡晃



## 地方自治体の権利が脅かされる

**議員** 今回の地方自治法の改正により国と地方の「対等・協力の関係」が損なわれ国の指示を可能にする制度が創設されることとなる。これに対する市長の見解と、政府への抗議や意見を提出する考えはあるか。

**市長** 重大な懸念に対して大臣が閣議決定を経て地方公共団体に指示をするもの。現時点で抗議や意見を提出する予定はない。

**議員** 熊本の震災の際、市民を体育館に避難させよと国から提言があったが、熊本市長の判断でそれを拒否。すると翌日もう一度地震があり体育館の屋根が崩れ落ちた。このように地方を把握しているのは地方自治体であり、この権限が脅かされることは由々しき事態である。

## 尾道市で コロナワクチンによる死者6名

**議員** 現在、尾道市でコロナワクチンの副反応により、死者6名を含む31名の健康被害が報告されていることに対する市長の見解は。

**市長** 国が判断することに本市が評価や見解を述べる立場ではない。

**議員** 死者6名を含む重大な事件であるにも関わらず、尾道市はこの事実をなぜ積極的に公表しないのか。

**市長** 現在の状況を踏まえて公表を検討する。

**議員** 市長から犠牲者に謝罪やお悔やみ、お見舞いの言葉はあるか。

**市長** 大変な思いをされた方々へのお見舞いと、今も療養されている方々の一日も早いご回復をお祈り申し上げます。ご遺族の皆様には謹んでお悔やみを申し上げます。

**議員** ワクチン接種は市の責任において行う自治事務である。それにより過去最大の薬害問題を起こし、「責任は国にある」という言い訳は通らない。市民にリスクや被害状況を隠して接種を推奨してきた罪は重い。



潮風おのみち  
まえだ たかと  
前田 孝人



## 長期政権による組織の歪(ゆが)みは コンプライアンス体制の確立が急務

**議員** 発注工事入札で市職員が逮捕された。繰り返し続く法令違反。尾道市の組織体質、職員の倫理観、コンプライアンス体制はどうか。謝罪会見で平谷市長は「事件は逮捕された職員の個人的な違反行為であり、組織的な問題は全くない。」と強調した。これには驚いた。組織のトップの言葉とは到底思えない。市長の認識があまりにも甘く常識を疑ってしまう。組織体の最高責任者として二度と事件を起こさないという決意、覚悟は全く伝わってこない。平谷市政17年間で9人の懲戒免職が出ているが長期政権による組織の歪みではないのか。未然防止の観点から組織を挙げてコンプライアンス体制の確立が急務だ。

**市長** 入札事務の適正執行について全職員に指示した。またコンプライアンス意識向上の研修では契約事務に関する内容も盛りこむ。

## 新市民病院は新高山の現在地に建替え 市民、みつぎ両病院の経営統合論議を

**議員** 新市民病院は東尾道緑地帯とおのみちバスの敷地に180~200億円で移転新築である。ただ移転先地は南海トラフ地震による津波浸水想定区域で液状化の恐れがある。市役所新庁舎、東尾道の防災センター、新浜の西消防署、この度の新市民病院とどれもがそういった場所にある。万一の時には頑強な建物は残っても液状化で道路は使えなくなり危機管理の拠点がすべて機能しなくなる。新市民病院はそのような恐れのない場所へ建設すべきである。私は広く市民から認知されており、島嶼部からのアクセスも良い新高山の現在地に建替えるべきだと考える。ただJA病院等との連携。経営の厳しい市民、みつぎ両病院の経営統合。親方日の丸体質の経営形態の見直し。懸案の医師の確保。財源や経営計画。夜間救急や休日診療所併設などの問題点を整理する必要がある。そのうえでの新市民病院の建設である。

**病院事業管理者** 新病院は移転新築とする。両病院の統合、また新病院への夜間救急診療所や休日診療所の併設は考えていない。







市民連合  
だんじょう まさき  
檀上 政樹



## 「食料・農業・農村基本法」の改正

**議員** 5月に改正「食料・農業・農村基本法」が国会で成立した。関連法の「食料供給困難事態対策法」では、有事の際、輸入拡大など供給確保の措置を講じる必要があるとしている。市も緊急時に備え、現在約1,500haある耕作放棄地や遊休農地を利活用して、米など特定食料の生産量を拡大してはどうか。

**市長** 平時での基盤整備強化のため、生産量拡大につながる遊休農地等の活用について農地バンクや農地中間管理事業を実施し、担い手への農地の集積と利用促進に努めていく。

**議員** 法改正を受けて市は今後どのように対応していくのか。

**市長** 本市では「農業振興ビジョン」をもとに施策を行っており、今後も必要に応じて見直していく。

**議員** 有事の際に市民の食生活に影響が出な

いよう、平時から自給率向上などに努めるよう求めておく。

## 農業DX

**議員** 農業DXとはデジタル技術を導入することで人手不足の解消や労働生産性を上げ、経営改善を図ることであるが、市はこれについてどう認識しており、現在どんな取組を行っているか。

**市長** 農業者の高齢化・担い手不足が進む中、デジタル技術を活用したスマート農業などで生産性の向上が必要であると考えており、現在DX推進支援事業でハウスの自動換気装置や、農機自動操舵システムなどの導入支援を行っている。

**議員** 市は今後、農家の「労働生産性」の向上、「所得拡大」へ向けてどのような取組を行っていくのか。

**市長** 生産基盤の強化やスマート農業技術による効率化、尾道ブランド農産物認証制度による高付加価値化など、農業を支える多様な担い手の育成に取り組んでいく。



市民連合  
やまね もとつぐ  
山根 基嗣



## 学校教職員の働き方改革

**議員** 時間外在校時間・持ち帰り業務時間（残業時間）の把握をどのようにするのか。

**教育長** 持ち帰り業務は、本年6月に各学校で一週間の期間を設定し、持ち帰り業務の有無と「授業準備」など6項目について調査する。学校全体の長時間勤務の縮減に努める。

## 人権尊重条例制定に向けて

**議員** 「人権を尊重したまちづくり条例」への取り組みをどのようにするのか。

**市長** 人権尊重条例の制定については、新しい人権啓発推進プランに沿った取り組みを進める中で、人権尊重条例について研究していく。

## 訪問介護ヘルパー事業所、民生委員児童委員への支援

**議員** 訪問介護報酬が引き下げとなり、訪問介護ヘルパー不足の解消策は。また民生委員児童委員への支援は。

**市長** 介護資格取得後、介護事業所に就労した人に補助金を交付する。また、「福祉まるごと相談窓口」を開設するなどして、課題解決に努める。

## 島根原発2号機再稼働について

**議員** 地震による原発事故対策として松江市民（12,980人）が尾道市に避難する「島根原子力発電所事故対応マニュアル」があるが道路網などのことも配慮せず大丈夫なのか。

**市長** 計画書に改定の必要が出た場合は関係機関と協議して実効性のあるものとする。

## 尾道市の水質保全対策

**議員** 三原市は「産業廃棄物安定最終処分場」の河川汚染の危惧から「水源保全条例」を制定したが尾道市の考えはどうか。

**上下水道事業管理者** 沼田川水系の水質及び水源確保は重要である。不測の事態が生じた場合は、三原市などと連携を図っていく。





市民連合  
まつばら せいじ  
松原 正侍



## 世界自閉症啓発デーの取り組み

**議員** 毎年4月2日を世界自閉症啓発デーとして啓発イベントを各地で開催しているが、尾道市では何か取組を行ったのか。

**市長** 「広報おのみち」において4月2日の世界自閉症啓発デーを知らせするとともに発達障害に関する相談窓口の周知を行っている。

## 難病・重度障がい者施策

**議員** 介助する方も高齢化するなかにおいて、「親なき後」問題を総括的に相談できる体制が求められており、当事者の声に対する尾道市としての役割についてどのように考えているか。

**市長** 広島県が設置する「難病対策センターひろしま」に適切につないでいくこととしている。また、「尾道市障害者サポートセンターはな・はな」においても、障がい者福祉全般に対応している。



公明党  
むらかみ くみ  
村上 久美



## オストメイトの日常生活用具基準額

**議員** 現在対象者（人工肛門・人工膀胱）の人数と、ストーマ基準額を3,000円増額した場合、公費負担額は。

**市長** 給付対象者は301人、公費負担額は、845万増の3,395万円。

**議員** ストーマ用装具ここ10年で39%値上がり、本市でも基準額増額の考えは。

**市長** 今後価格の動向もみながら基準額について研究をしていく。

**議員** 災害時のストーマ装具の備蓄など市の取り組みは。

**市長** 現在オストメイト専用トイレの備蓄はあるが、ストーマ装具の備蓄していない。今後ストーマ装具の備蓄に取り組む。

## 市役所窓口での軟骨伝導イヤホン導入

**議員** 窓口で難聴者対応はどうしているか。

## 手話言語条例について

**議員** 手話言語条例への市長答弁から1年が経過するが、条例のあり方の研究と、実効性のある施策として具体的にどのようなことをされたのか伺う。

**市長** 手話への理解を促進することは共生社会の実現に寄与することと考えている。手話通訳者設置事業、手話奉仕員養成事業の施策を実施している。

**議員** 手話言語条例について当事者から意見を聞いたことがあるか。また、その意見を受けて今後どのように進めるのか。

**市長** 定期的に意見交換の場にも参加させていただいている。条例の制定にあっては、多様な障害の特性やコミュニケーションの方法を理解することが大切であり、様々な方面からご意見を伺いながら調整を進める必要があると考えている。

**議員** 手話言語条例は当事者の皆さんの心の支えとなり、市民の皆さんの正しい理解や啓発に必要不可欠な条例となる。素晴らしい条例ができることを期待する。

**市長** 現在は筆談と月に1回社会福祉課窓口到手話通訳者配置。

**議員** 今後尾道市の窓口で軟骨伝導イヤホンの導入をしてはいかがか。

**市長** 活用方法や効果など、他自治体の導入事例も含めて、研究していく。

## HPVワクチン接種の重要性

**議員** 男性への独自助成を本市でする場合、対象者・費用は。

**市長** 対象者は約2,700人、事業費は約292万円

**議員** 国内で男性への独自助成自治体は本年までに31団体あるが、男性へ助成を開始してはいかがか。

**市長** 国の定期接種化に向けた動向を更に注視しながら、考えていきたい。

**議員** 女性への通知方法も改訂されているか。

**市長** 改訂された厚労省の作成したリーフレットなど用いて、6月中に発送予定にしている。



公明党  
おかむら たかし  
岡村 隆



## 高齢者の自己決定支援の推進

**議員** 「自分ノート」の内容、周知、活用は。

**市長** 遺言、相続、葬儀のこと、お金のことなどを記載。もしもに備え、家族の話し合いのきっかけにしていきたい。

**議員** 高齢者の住居を空き家にしない取り組みは。

**市長** 将来の相続、管理についての啓発パンフレットを作成。出前講座や、窓口での相談を通じ、「任意後見」制度や、専門家への相談の必要性などの周知に努めている。

**議員** 「任意後見制度」のメリット、周知は。

**市長** 将来の判断能力低下に備え、あらかじめ信頼できる人に支援を求める内容を公正証書に残す制度。更なる周知方法等を検討する。

## 書店を守る取り組み

**議員** 「文学の街尾道」の取り組みは。

**市長** 国が立ち上げた「書店振興プロジェクトチーム」などの動きを注視していく。

## 動物愛護の取り組み

**議員** 予算化された「猫の保護器」予算化の経緯は。

**市長** 地域猫活動を一層推進し、野良猫の不妊去勢手術の活動を支援するために行う。

**議員** 「猫の街尾道」にふさわしく、様々な動物問題解決の中心となるべく「動物管理係」的なセクションの新設が必要ではないか。

**市長** 新設は考えていないが、関係団体等と連携を図りながら、動物との共生社会の実現に取り組む。



一般質問を終えて…

「任意後見」は自己決定権尊重の理念にかなった制度。一層の利用促進を求めている。



公明党  
ふくはら けんじ  
福原 謙二



## 感震ブレーカーへの設置助成について

**議員** 震災での火災の原因の過半数は電気関係が原因とされている。地震の揺れで電熱機器が倒れ可燃物に接触や建物の倒壊で破損した電気機器に通電し漏電やショートが生じて出火する通電火災などがあり震災での火災予防が必要。その対策として感震ブレーカーがある。感震ブレーカーを設置することで自宅を守り、自身や家族を守るだけでなく地域を守る。震災時に家庭における火災を抑制するため補助金を出して設置を推進してはどうか。

**市長** 電気に起因する出火が多く感震ブレーカーの設置により地震時の電気を遮断し出火が相当抑制されると認識している。現在、本市では感震ブレーカー設置に対する補助は行ってはいないが、その有効性について周知を行うとともに、設置助成制度について研究を行っていく。

## 児童生徒のSOS発信について

**議員** 現在、小・中学生1人に1台のタブレット端末が配布され使用している。

今、教育現場では様々な課題も多く存在する。その課題解決の一助として端末にソフトを入れ、自身のこと・クラスメイトのこと・いじめなど自由に端末へ入力することで、心の変化に早く気づき不登校、いじめ、精神的な悩みなどが減少していくものとする。尾道市の学校もソフトを導入してはどうか。

**教育長** 困難を抱える児童生徒の心の小さなSOSを早期に発見し支援することができるように、タブレット端末を使い本年6月より開設した。児童生徒が名前、学校を入力しなくても対応できるもので、本コーナーに相談があった場合には対応することができる体制を整えている。

児童生徒の心の小さなSOSにも対応し迅速でより良い支援へつなげていく。





平成会  
にのみや ひとし  
二宮 仁



### 町内会支援サイトの設置は

**議員** 京都市は町内会のおうえんポータルサイトを設置している。書面で総会に代える書面表決の参考様式もダウンロードでき、様々な困りごとにもQ&Aで応えている。似たサイトを設置してはどうか。また窓口となる支援センターを設置し、電子回覧板のデジタル倉庫を置いてはどうか。また地域団体の資産管理方法をアドバイスする研究を始めてはどうか。

**市長** 会長の便利帳を毎年改訂し配布し、公式サイトにも掲載している。参考事例の充実も含め、より便利なポータルとしての機能充実を図りたい。支援センターの名称は考えていないが、相談してもらいやすくなる関係づくりを進める。回覧物の電子化は研究する。資産管理については認可地縁団体設立を案内している。全国の事例等を認識し、困りごとの相談にしっかり対応していく。



青嵐会  
みやち ひろゆき  
宮地 寛行



### 保育士の配置基準見直しを！

**議員** 尾道市独自の配置基準を！保育士さんは大変！とりわけ、0～2歳児を！国が定めた基準は古すぎてもう時代に合っていない！保育を与える側の環境が良くなると、保育を受ける環境は良くなる！0歳児、3対1を2対1に！1～2歳児、6対1を4対1に！予算もかかることなのでまずは公の1施設で試験的に行い、効果があれば他の公の施設に順次広げていき、その後民間の施設へと広げていく流れが良いと思うがいかがお考えか。

**市長** 保育士配置基準の改善については、国の動向を注視し、慎重に検討していく。

**議員** いつまで地方自治体のことを国任せにするのか。研究や検討という答弁はもう5年、10年、15年間いてきている！その場しのぎの答弁はもうやめるべき！全部の園で行えとは言っていない！やる気のないそちらに合わせてま

### 日曜日も利用できるクーリングシェルターは

**議員** 熱中症特別警戒アラートの運用が始まり、クーリングシェルターの指定カ所も公表された。日曜日にも利用できるのは何カ所か。シェルターを増やす努力はしているか。

**市長** 市内指定施設22カ所中、日曜日にも利用できるのは8カ所。民間施設も協定締結により指定可能で、協力いただける施設、店舗を募集している。

### 瀬戸内海の観光誘客マスタープランとの関係は

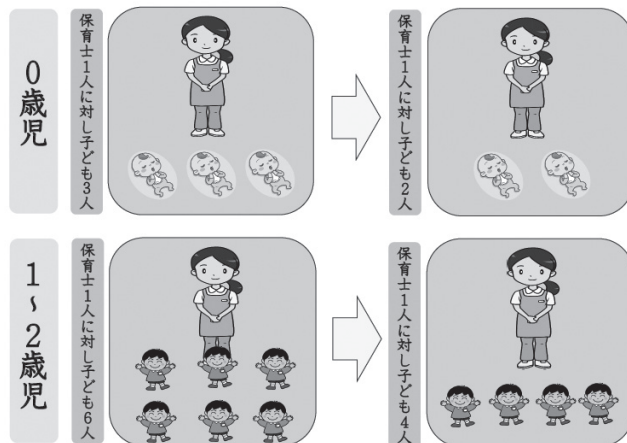
**議員** 一般社団法人せとうち観光推進機構などが富裕層のインバウンドを呼び込むマスタープランをまとめ今年4月に公表した。このプランと尾道の関係及び対応策は。

**市長** プランに関係するせとうちDMOの中の企業が観光庁の補助採択を受け旧千光寺山荘やRyokan西山をはじめとする市内宿泊施設の高付加価値化に道筋をつけることができた。今後もインバウンド含めた交流をすすめたい。

ずは1施設で！と言っている。それでも動こうとしないから尾道市からどんどん若い人たちが流出していくのだと思う。

#### 一般質問を終えて…

尾道市の将来を担う子ども達への投資をしない。そんな行政に希望が持てるだろうか。尾道市で育つ子ども達がかわいくないのだろうか不思議に思う。



一般質問とは、議員が、定例会において、行政全般にわたり、行政全般にわたり、市の事務の執行状況や将来の方針について執行機関（市長など）に質することです。氏名横の二次元バーコードをスマートフォンなどで読み取っていただくことと各議員の実際の本会議での質問動画を見ることが出来ます。



新誠会  
しんち たかふみ  
新地 貴史



## 尾道市だけではなく、国・県で投票率が低下していることについての市としての対応について

**議員** 我々議員や市長は市民の皆様のご投票によって選ばれて市民の皆様からいただいた意見であったり要望であったりいろいろな意見を代弁するために、こういった責務を与えていただき市政運営を行っている。ただ昨今の日本では選挙の投票率が下がっており、連日ニュースにもなっている。

尾道市議会議員一般選挙の投票率は、1999年が72.97%、2023年が56.34%であり、この25年でおおよそ20%も下がっている。

そこで私は改善策として次のことに注目した。子どもたちに愛され地域のいろいろな方にも愛される「ゆるキャラ」というものに着目し、尾道市では特段行っていなかった「尾道市ゆるキャラ総選挙」をしてはいかがか。

市民全員の投票で選出された「ゆるキャラ」には、尾道親善大使とともに各イベントに出席して、この尾道市を多方面にアピールしていただきたい。選挙で実際に選出された「ゆるキャラ」を目にすることで、自分が選んだキャラクターが活躍しているのを目にして、投票に行くことの楽しさや重要性を特に子どもたちに教育していく重要なイベントになると考える。

**市長** 選挙啓発については、広報紙や市ホームページ、公式ラインに掲載するほか、尾道駅前や商業施設周辺での街頭啓発を行って、投票参加を呼び掛けている。

ご提案の「ゆるキャラ総選挙」は、模擬投票として行うことを想定されており、継続した選挙啓発事業の中で、他市の事例を参考にしながら、模擬投票の中で候補のひとつとして考えられると伺っている。また、次世代の方たちの主権者意識を高め、将来の政治参加につなげるために、議員の皆様方で行われている学生議会の開催についても、意義深いものと考えている。



日本共産党  
うおたに さとる  
魚谷 悟



## 市民病院の移転建設について

**議員** 現在地での建て替えの検討はしたのか。計画場所の交通渋滞や液状化の状況、病院建設の財源はどうするのか。

**市長** 診療を止められないので移転新築する。交通渋滞は今後検討していく。液状化しても、周辺道路は復旧優先道路に指定されている。病院建設の財源は今後検討していく。

## 介護サービスの提供体制について

**議員** 訪問介護事業所が全国的に減っているが、市内の事業所数と増減は。特別養護老人ホームの待機者数は何人か。

**市長** 市内の訪問介護事業者は、40業者で、昨年4カ所増えて3カ所廃業。特別養護老人ホームの待機者は703人である。

## 町内会・自治会活動に対する支援

**議員** 町内会への補助金は尾道と瀬戸田町で4.1倍の格差がある。格差是正をどうするのか。格差是正のために資源物の売却益約5,000万円を還元してはどうか。

**市長** 加入世帯数に応じた支給を考慮する。売却益を町内会に還元することは難しい。

## 教育問題について

**議員** 「1学年複数学級」を今後も統合の原則とするのか。

**教育長** 「1学年複数学級」が望めないので、新たな学校再編計画の策定が必要と考えている。

## 1万円分のタクシー券支給の

### 検討結果は

**議員** タクシー券1万円分支給について、どのような研究・検討をしたのか。タクシー券を希望する人が増えているので1万円分支給しては。

**市長** バス券は減少、タクシー券は増加傾向である。タクシー券1万円分支給については、引き続き研究していく。